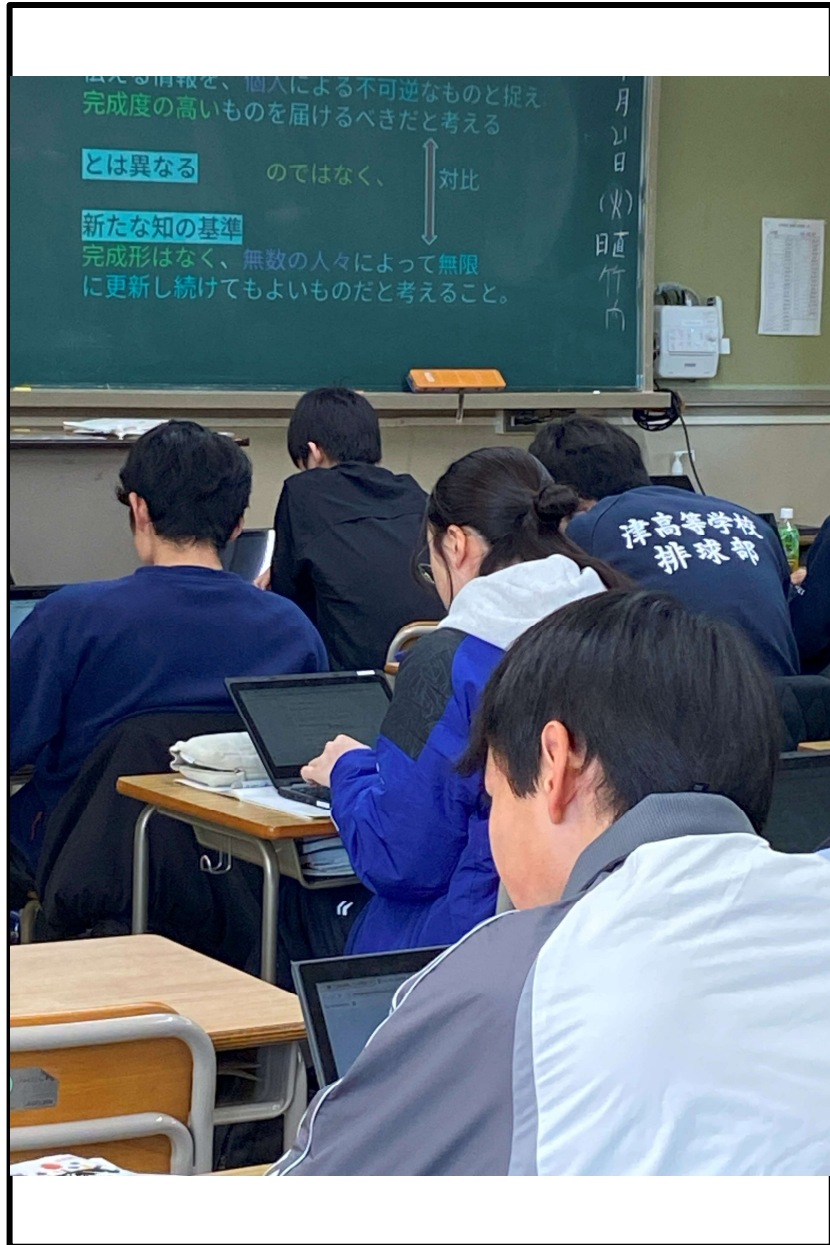


# ICTを活用した学び【1 学年・現代の国語】

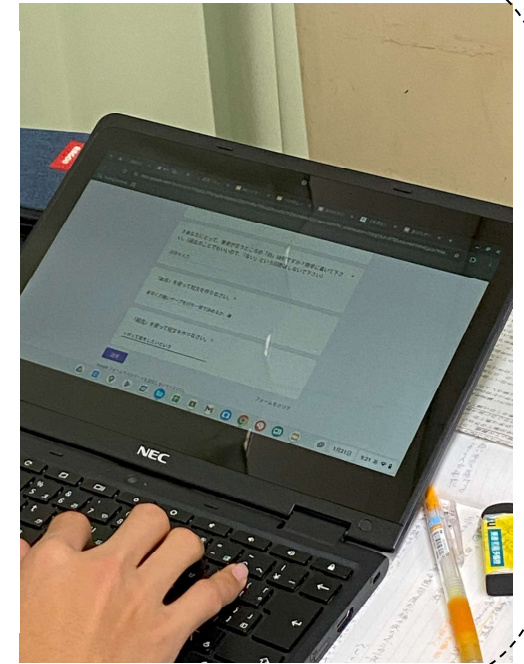
## 【ICT活用場面】



## 【活用したアプリや機能】

### GoogleForms

- 単元が終わる毎に、GoogleFormsを用いて、授業の取り組みに関する自己評価と振り返りを行った。
- 語彙力UPのための補助的な活動として、Formsを活用して短文作成を行った。

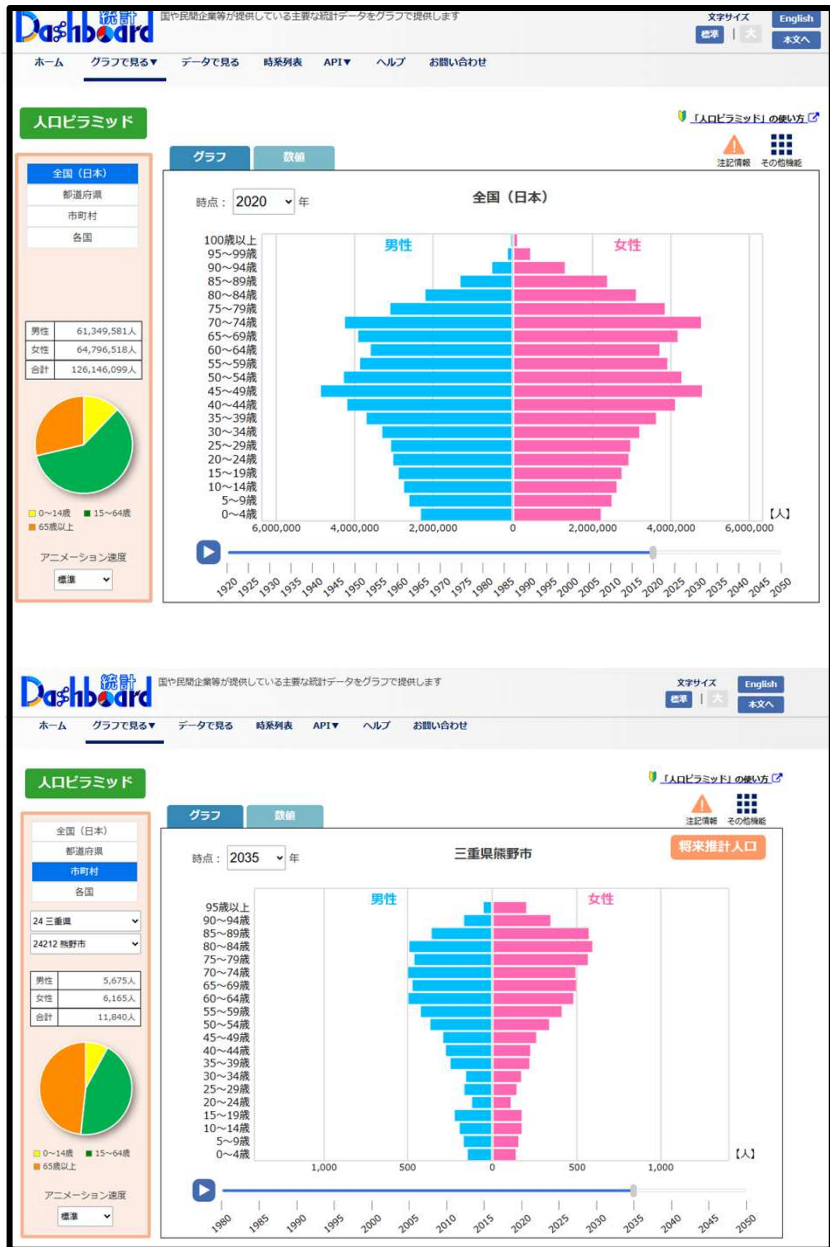


## 【ICT活用のメリット】

スキマ時間を利用して取り組むことができる。

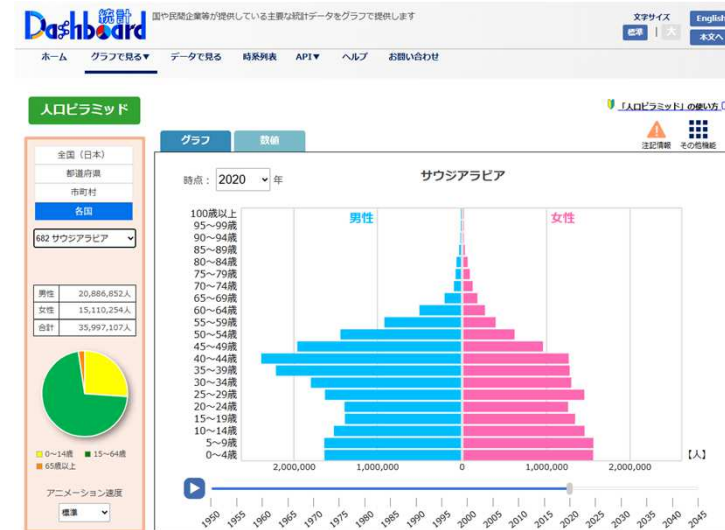
# ICTを活用した学び【1年・地理総合・人口】

## 【ICT活用場面】



## 【統計ダッシュボード】

人口ピラミッドについての説明を行う際に、人口推移を想像しやすく過去～未来を表すことができる。

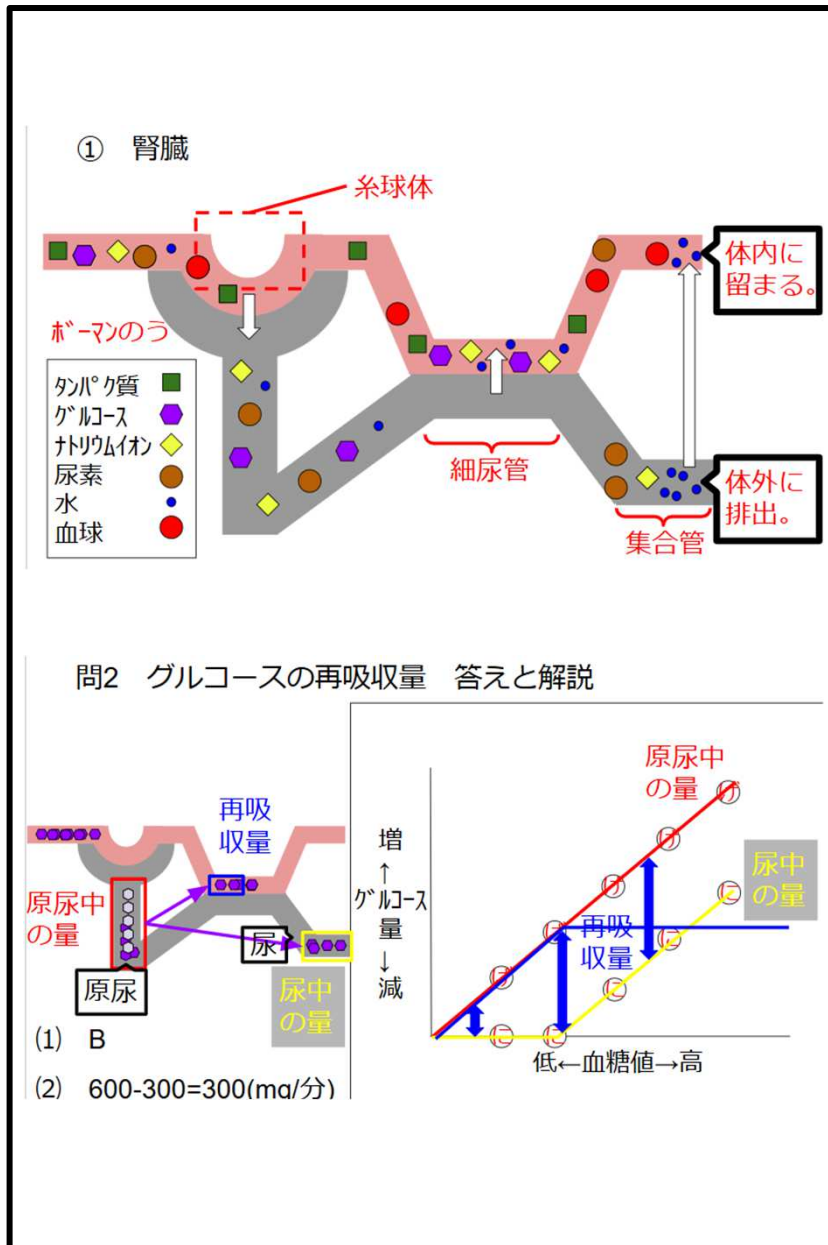


## 【ICT活用のメリット】

人口に関してイメージが湧きやすくなったと感じた。  
人口ピラミッドの形が変わることで、少子化、高齢化などの推移がわかりやすい。

# ICTを活用した学び【1年・生物基礎・体内環境の維持】

## 【ICT活用場面】



## 【Googleスライド】

生物基礎の腎臓のはたらきの分野でスライドのアニメーションを用いて授業を実施しました。

腎臓のはたらきは複雑で、その中でも物質の移動の様子は教科書の図だけでは理解しずらく、その様子を具体的にイメージづけることができました。（上図）

また、問題の解説でもアニメーションを用いて、グラフがなぜそのような形になるかを詳細に説明しました。板書だけでは時間がかかることを短時間で簡潔に伝えることができました。（下図）

## 【ICT活用のメリット】

板書では時間がかかる説明を短時間で、より分かりやすく伝えることができます。また、一度作成した図は多少の変更はあってもその後も活用し続けることができること、また、そのスライドを生徒に共有することで家庭学習のサポートにもなりうるという点で優れていると思います。



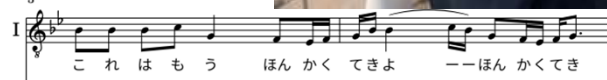
# ICTを活用した学び【1 学年・芸術科音楽・創作】

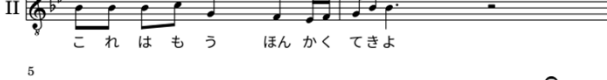
## 【ICT活用場面】



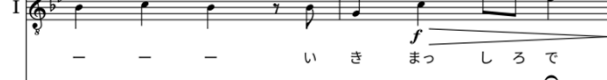
II  め ざ め た ら

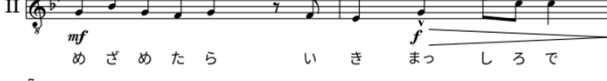
3

I  こ れ は も う ほ ん か く て き よ ー ほ ん か く て き

II  こ れ は も う ほ ん か く て き よ

5

I  ー ー ー い き ま っ し ろ で

II  め ざ め た ら い き ま っ し ろ で

7

I  こ れ は も う ほ ん か く て き よ ほ ん か く て き

II 

## 【活用したアプリや機能】

### オンライン楽譜作成ソフトウェア – Flat

創作の単元において、日本の伝統的な音楽を構成する様々な5音音階について学び、それらを用いて短い旋律を作曲する課題に取り組んだ。普段から楽譜を読む、楽譜から音楽を演奏する機会が少ない生徒にとっても、容易に楽譜を作成できることから、ブラウザ上で楽譜作成可能な「Flat」を使用した。

- ① 5音音階について学び特徴を感じ取る  
(律音階、都節音階、民謡音階、琉球音階、ヨナ抜き音階)
- ② 音楽を構成するメロディー・リズムについて学び、言葉を音符化する
- ③ 歌詞となる短歌を一首選択し、その歌詞からイメージされるメロディー・リズムを創作する
- ④ 「Flat」(オンライン楽譜作成ソフトウェア – Flat) を用い、楽譜を作成する
- ⑤ 完成した作品を発表、PDF・mp3ファイルで提出

## 【ICT活用のメリット】

- ・拍子を指定し音符を入力すると、その小節内に入力可能な残りの拍数が休符となって表示されるため、適切な長さの音符入力が自力で理解できる
- ・自動再生機能が付いており、クラス内での発表が容易にできる
- ・演奏楽器を追加し、副旋律や伴奏を創作することもでき、興味関心の深い生徒は、より高度な創作を自主的に行うことができる
- ・作品をデータ化でき、classroom上で提出できるので評価手段の簡略化につながる

# ICTを活用した学び【1学年・保健・食事と健康&感染症】

## 【ICT活用場面】



## 【活用したアプリや機能】

Canva

- Googleスライドや、他のアプリに比べて、画像や装飾するなど、生徒たちも行いやすいと話していた。
- シートの数も多く、柔軟に対応できている。

## 【ICT活用のメリット】

- 調べた内容をデータ化し、まとめることができ、ITスキルが向上。
- 様々な画像など貼り付けたり調べることで、興味関心が高まり、班全体で協力し合い、活動が活発に行えている。
- 教師は成果物として評価する際に扱いやすい。管理が容易。



# ICTを活用した学び【1学年・英コミュTT・国についてのプレゼン活動】

## 【ICT活用場面】



## 【国の情報が得られるホームページやスライド】

各グループがそれぞれ別の国を選び、卒業旅行として行くべき場所としてプレゼンする。

教員による内容の事前確認はせず、生徒同士で話し合い、英文およびスライドを作成した。

サイトは、取り上げた国の情報が取れるホームページ、観光案内やウィキペディアなど。

## 【ICT活用のメリット】

プレゼンの出だしのhook(興味をひかせるもの)として、国旗や食べ物、スポットを先に見せて視覚的に興味を引かせる材料を調べて用いることで、どこの国かを想像させてから話を始めるなど、工夫を凝らしていた。

# 探究的な学び【1年家庭基礎】

## 【後期ICTを活用した「家庭基礎」の授業】

### 【家庭基礎ICT活用授業風景】



・ファッションショー  
・外部講師授業

- 被服実習・①各個人に製作動画を配信、自分のペースで手順を確認しながら、作業を進めることができた。
- ②実習の記録を配信、進捗・評価・感想を毎回記入するように指導した。自分の進捗を振り返り、作業効率のための計画を立てる手助けとなった。
- ファッションコーディネート・本校は制服ではなく私服である。各自の着こなしに関心を持たせる目的で「高校生らしいファッションとは」をテーマに色彩学やコーディネートについての基礎知識を学習した。その上で、各自がファッションについて調べたスライドを作成し発表した。さらにグループでテーマを決めファッションショーを実施し、配信された評価表に各班の感想と評価を記入させ、ベストファッションショー、ベストモデル賞を決定した。昨今体操服や部活動のジャージでの通学が多いが、この学習を通して自分の着こなしを見直すきっかけになった。
- 外部講師による授業・証券会社講師による「家計資産のマネジメント」の授業では、あらかじめスライドを生徒に配信、画面で図やグラフ、簡単なゲームをしたことで見やすく、興味が増したようだ。また難しい内容への理解も深まった。
- 單元ごとのスライド、宿題、テストの解説などの配信ポイントとなる内容については、スライドを個人に配信したり、宿題やテスト解説などでICTを活用した。紙の削減になり、管理もしやすくなった。

## ICTを活用した学び【2年 数学B・C】

## 【ICT活用の場面】

### 【活用したアプリや機能】

# 数学C ベクトル 第1節テスト

※問題は、問題用紙に印字されています。

※解答時間は、30分間です。

※終了後、送信ボタンを押す時間をとりますので、それまでは送信ボタンを押さないようにしてください。

(一度送信ボタンを押してしまうと、再編集はできません)

問題用紙

## ベクトル 第1節 小テスト

## アカウントを切り替える

\* 必須の質問です

単元終了時にFormsを用いた小テストを行った。  
生徒はchromebookを用いてテストに解答した。

## 【ICT活用のメリット】

小テストの点数が即時に生徒に伝わり、その場ですぐに間違えた問題を復習できるスピード感が素晴らしかった。

得点の集計などの煩わしい部分を排除できた。

